

## アセットファイナンス市場 への期待



日本取引所グループ 東京証券取引所  
小沼 泰之 CMA

東京証券取引所（東証）の不動産投資信託証券（Jリート）は市場開設から16年を迎え、保有する不動産総額は約15兆円、上場数58銘柄、時価総額約12兆円、投資主数が約65万人と国内外の幅広い投資者層の資産運用にとって、重要な位置付けを占めるまでに発展した。これも発行体、投資者、市場関係者、関係団体の支援・協力によるものであり、改めて深く感謝したい。

更なる利便性向上の観点からは、東証リート指数の浮動株化等を進めるほか、公開価格の算定における確認作業の充実など新規上場の信頼性向上に向けた取組み、上場後の情報開示の在り方などに関する関係者の建設的な議論なども進められている。

また、運用対象の不動産も、オフィス、住宅、商業施設から、より幅広い用途に広がりつつある。日本再興戦略では、ヘルスケアリートやインフラファンドについて、持続的成長に向けた環境整備や普及が言及されており、国家の成長戦略としても、社会のニーズが高い資産に金融資本市場を通じて資金を供給していく動きが進んでいる。

不動産やインフラ資産などを証券化して、投資資金を提供する市場を